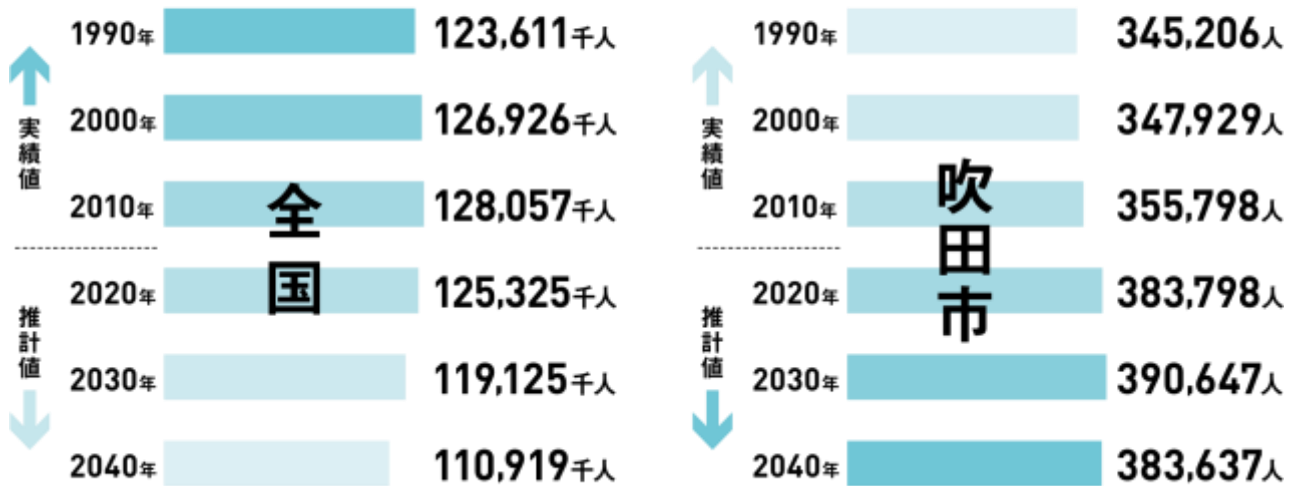


1 全国と吹田市の人口推移 (吹田市第4次総合計画より抜粋)

▶▶ 人口の推移

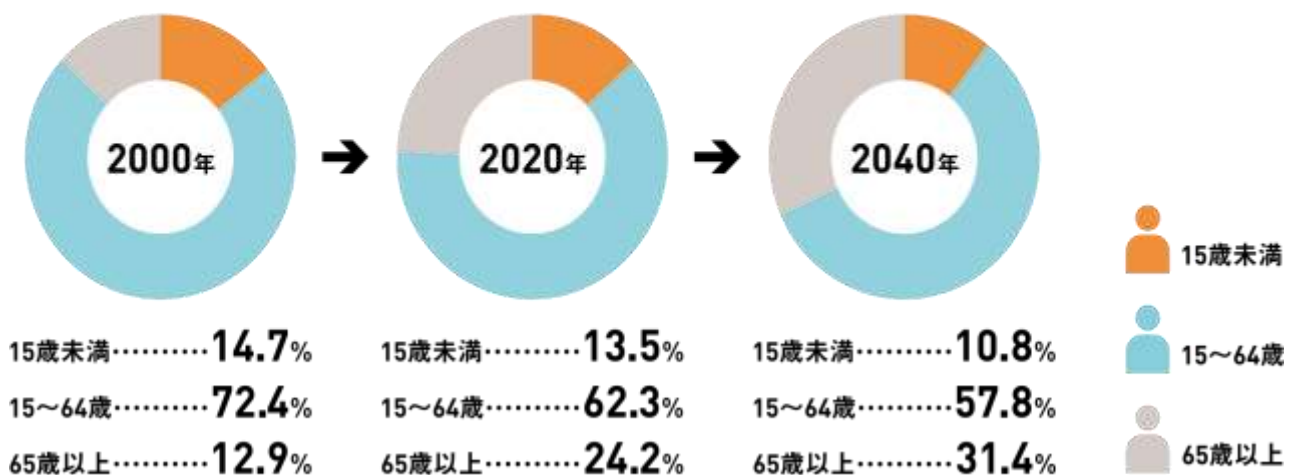
国全体では人口は減少傾向にあります。吹田市は住宅用地の再整備を背景に増加し続けています。今後も、千里ニュータウンの建替えや新たな住宅建設により、当面の間は人口が増加する見込みです。



「日本の将来推計人口(平成29年)」, 「吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について」から

▶▶ 少子高齢化

年少人口、生産年齢人口はいずれも減少しています。一方、老年人口は増加しており、今後も少子高齢化が進展する見込みです。



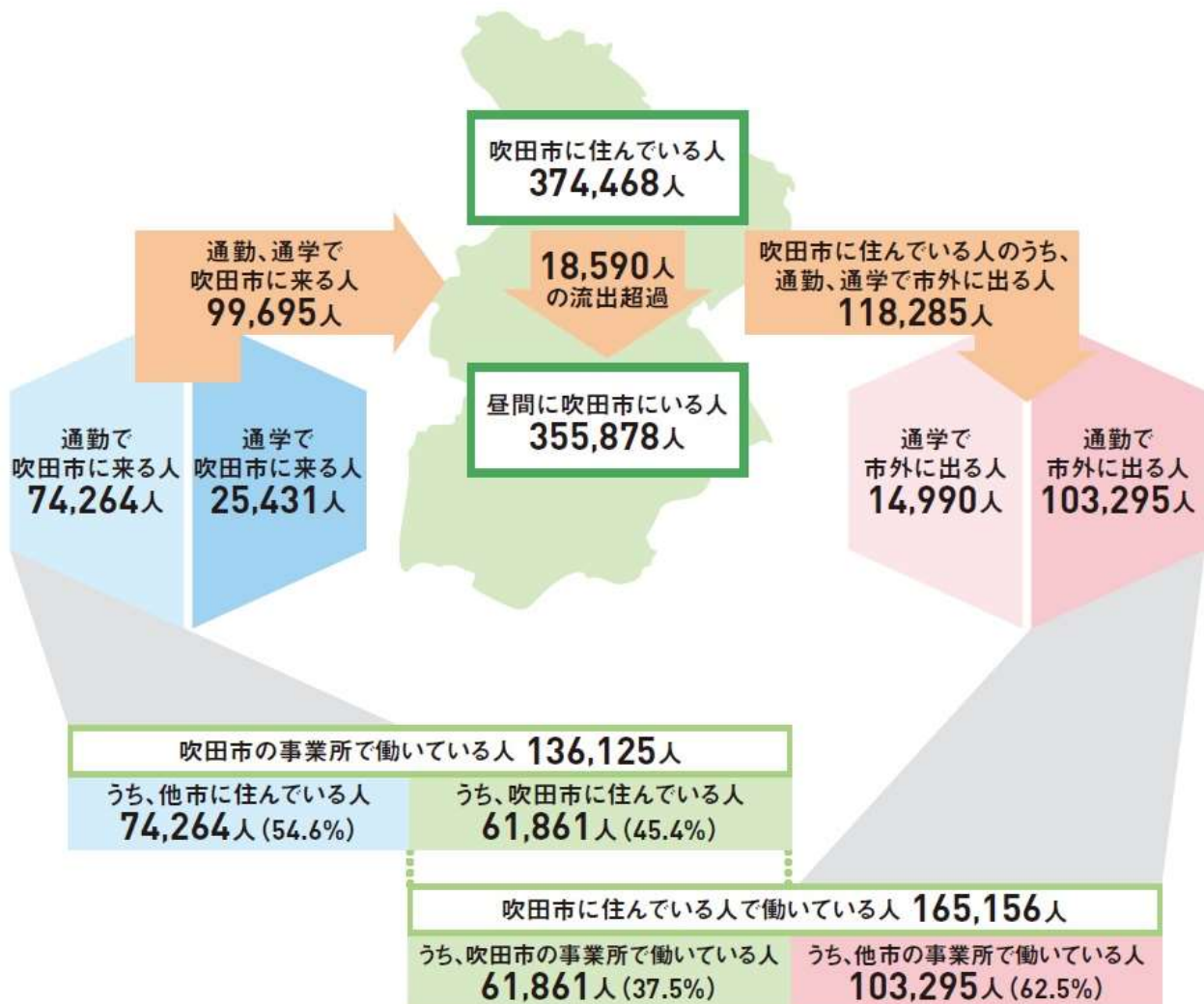
「吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計について」から

2 吹田市の人口動態

(1) 吹田市の特徴

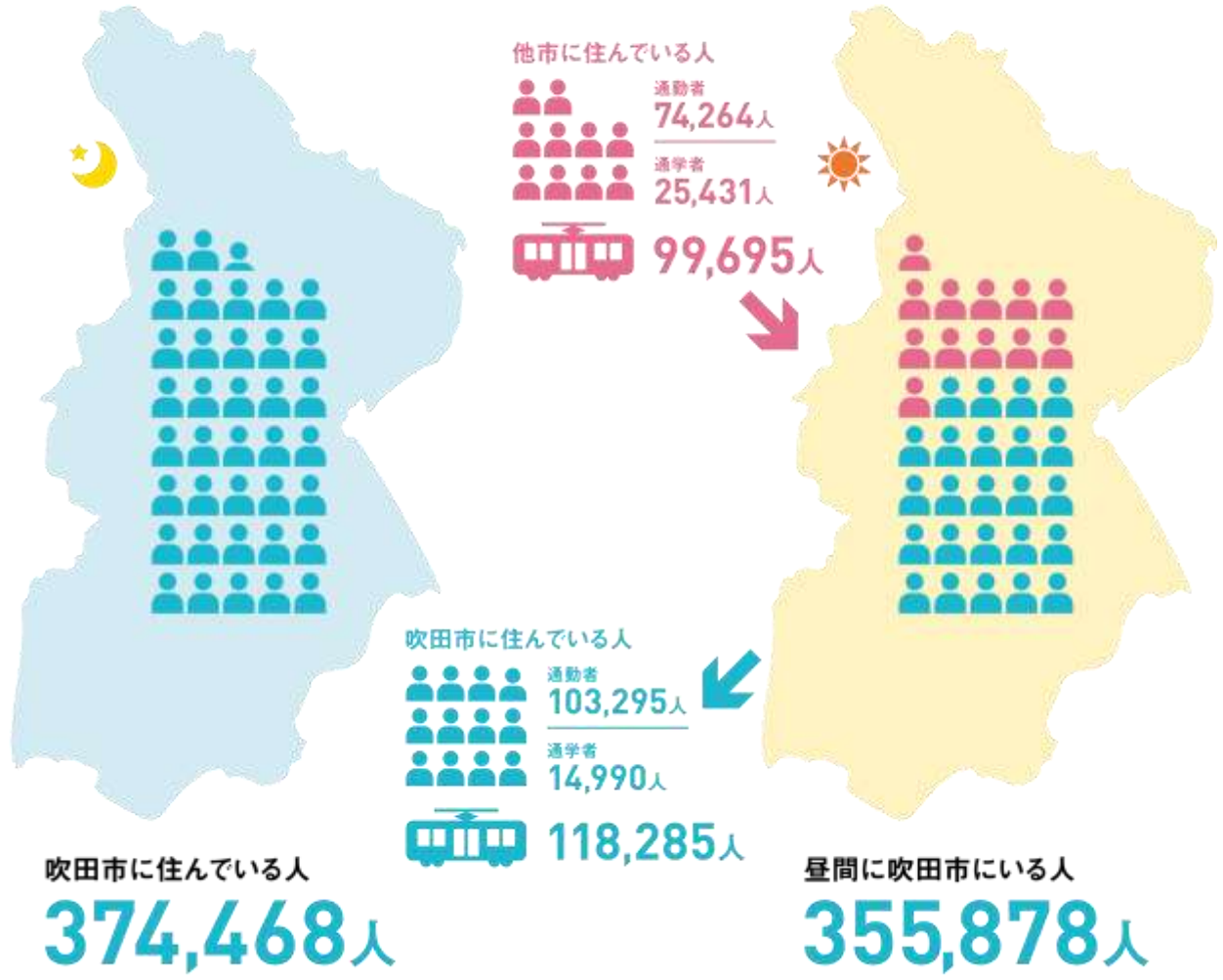
本市は、鉄道網の整備や千里ニュータウンの建設、土地区画整理事業に伴う宅地開発などにより、大阪都市圏における住宅都市として発展してきました。一方、江坂駅周辺では卸売・小売業などの店舗や企業の集積がみられるとともに、市内には多くの大学が立地しています。このように、本市は住宅都市でありながら、多くの企業や大学などを有する複合型都市といえます。

そのため、本市に住む就業者の6割が市外へ通勤する一方、市内の事業所で働く人の5割以上が他市から通勤してきています。また、通学で市外に出る人よりも、通学で本市に来る人が多くなっています。。



▶▶ 複合型都市

吹田市は住宅都市でありながら、多くの企業や大学などを有する複合型都市です。そのため、本市に住む就業者の6割が市外へ通勤する一方、市内の事業所で働く人の5割以上が他市から通勤してきています。



【平成27年国勢調査】から

▶▶ 共同住宅の割合

千里ニュータウンをはじめ、多くの共同住宅があり、大阪府内で最も共同住宅の割合が高いまちです。



吹田市
73.8%
(府内1位)

大阪府
54.8%

【平成27年国勢調査】から

(2) 人口の推移と将来人口の推計

本市の人口は、近年、住宅用地の再整備を背景に増加し続けています。今後も、千里ニュータウンの建替えや新たな住宅建設により、当面の間は人口が増加する見込みですが、将来的には人口が減少しはじめると予測されます。



	2015年		2020年		2025年		2030年		2035年		2040年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
総数	180,669	193,799	184,925	198,873	186,862	201,445	187,889	202,759	186,637	201,400	184,690	198,947
0~14歳	26,874	25,348	26,529	25,205	25,367	24,218	23,620	22,579	22,058	21,046	21,244	20,238
15~64歳	117,065	119,332	119,278	119,889	121,369	121,437	121,399	121,496	117,454	117,164	111,450	110,106
65歳以上	36,730	49,119	39,118	53,779	40,126	55,789	42,869	58,684	47,125	63,190	51,997	68,603
75歳以上	15,409	23,793	18,800	29,382	22,870	35,574	23,515	37,832	23,345	37,704	25,111	38,752
総数 (男女計)	374,468		383,798		388,307		390,647		388,037		383,637	

参考資料 (吹田市第4次総合計画策定に係る人口推計 年齢5歳階級別人口の推計結果より)